

社会資本総合整備計画 防災・安全交付金

令和04年01月19日

計画の名称	富士の麓の高原都市にふさわしい水環境保全（防災・安全）												
計画の期間	平成31年度～令和04年度（4年間）										重点配分対象の該当		
交付対象	御殿場市												
計画の目標	御殿場浄化センターについては再構築計画に基づく施設の耐震化や機器更新等を行い、管渠施設についてはストックマネジメント計画に基づいて点検・調査を進めることで、事故の未然防止を図る。												
全体事業費（百万円）	合計（A+B+C+D）	605	A	605	B	0	C	0	D	0	効果促進事業費の割合C / (A+B+C+D)	0	%

番号	計画の成果目標（定量的指標）			
	定量的指標の定義及び算定式	定量的指標の現況値及び目標値		
		当初現況値 (H31当初)	中間目標値 (R2末)	最終目標値 (R4末)
1	R4までに、御殿場市下水道総合地震対策計画に基づき消毒施設及び沈砂池棟の耐震化を行う。 総合地震対策計画に基づく耐震化済の施設数	0箇所	1箇所	2箇所
2	R4までに、下水道ストックマネジメント計画に基づく最重要・重要管路の点検・調査の実施距離を累計7.4kmとする。 下水道ストックマネジメント計画に基づく管路の点検・調査	2 km	5 km	8 km
3	R4までに、下水道ストックマネジメント計画に基づき、御殿場浄化センター沈砂池設備の更新を行う。 下水道ストックマネジメント計画に基づく機器更新済の施設数	0箇所	0箇所	1箇所
4	R4までに、下水道ストックマネジメント計画に基づき、マンホール蓋の更新を行う。 下水道ストックマネジメント計画に基づくマンホール蓋更新済の数	0箇所	0箇所	190箇所

備考等	個別施設計画を含む	<input type="radio"/>	国土強靱化を含む	<input type="checkbox"/>	定住自立圏を含む	<input type="checkbox"/>	連携中枢都市圏を含む	<input type="checkbox"/>	流域水循環計画を含む	<input type="checkbox"/>	地域再生計画を含む	<input type="checkbox"/>
-----	-----------	-----------------------	----------	--------------------------	----------	--------------------------	------------	--------------------------	------------	--------------------------	-----------	--------------------------

A 基幹事業

基幹事業（大）	番号	事業種別	地域種別	交付対象	直接間接	事業者	種別1	種別2	要素となる事業名 (事業箇所)	事業内容 (延長・面積等)	市区町村名/ 港湾・地区名	事業実施期間（年度）					全体事業費 (百万円)	費用 便益比	個別施設計画 策定状況	
												H31	R02	R03	R04	R05				
一体的に実施することにより期待される効果																				
備考																				
下水道事業	A07-001	下水道	一般	御殿場市	直接	御殿場市	終末処理場	改築	御殿場浄化センター耐震化事業	消毒施設及び沈砂池棟の耐震化	御殿場市	■	■	■	■		132		策定済	
	A07-002	下水道	一般	御殿場市	直接	御殿場市	終末処理場	改築	ストックマネジメント計画の見直し	ストックマネジメント実施計画の見直し	御殿場市	■					18		策定済	
	A07-003	下水道	一般	御殿場市	直接	御殿場市	管渠（汚水）	改築	管渠施設ストックマネジメント事業	重要管路点検・調査 L=6.0 k m	御殿場市	■	■	■	■		17		策定済	
	A07-004	下水道	一般	御殿場市	直接	御殿場市	終末処理場	改築	御殿場浄化センターストックマネジメント事業	沈砂池設備更新	御殿場市		■	■	■		358		策定済	
	A07-005	下水道	一般	御殿場市	直接	御殿場市	管渠（汚水）	改築	下水道施設ストックマネジメント事業	マンホール蓋更新 N=190箇所	御殿場市				■		80		策定済	
												小計						605		
												合計						605		

交付金の執行状況

(単位：百万円)

	H31	R02			
配分額 (a)	16	19			
計画別流用増△減額 (b)	0	0			
交付額 (c=a+b)	16	19			
前年度からの繰越額 (d)	0	0			
支払済額 (e)	16	19			
翌年度繰越額 (f)	0	0			
うち未契約繰越額 (g)	0	0			
不用額 (h = c+d-e-f)	0	0			
未契約繰越率+不用率 (i = (g+h)/(c+d))%	0	0			
未契約繰越率+不用率が10%を超えている場合その理由					

事前評価チェックシート

計画の名称： 富士の麓の高原都市にふさわしい水環境保全（防災・安全）

事 前 評 価	チェック欄
I. 目標の妥当性	
①上位計画等との整合性 1) 上位計画等と整合性が確保されている。	○
I. 目標の妥当性	
②地域の課題への対応 1) 地域の課題を踏まえて整備計画の目標を設定している。	○
II. 計画の効果・効率性	
③目標と定量的指標の整合性等 1) 目標と指標・数値目標の整合性が確保されている。	○
II. 計画の効果・効率性	
③目標と定量的指標の整合性等 2) 指標・数値目標と事業内容の整合性が確保されている。	○
II. 計画の効果・効率性	
③目標と定量的指標の整合性等 3) 目標及び事業内容と計画区域との整合性が確保されている。	○
II. 計画の効果・効率性	
③目標と定量的指標の整合性等 4) 指標・数値目標が市民にとって分かりやすいものとなっている。	○
II. 計画の効果・効率性	
④事業の効果 1) 十分な事業効果が確認されている。	○
II. 計画の効果・効率性	
④事業の効果 2) 事業連携等による相乗効果・波及効果が得られるものとなっている。	○
III. 計画の実現可能性	
⑤地元の機運 1) まちづくりに向けた機運がある。	○
III. 計画の実現可能性	
⑤地元の機運 2) 住民・民間事業者等と協力して計画を策定している。	○
III. 計画の実現可能性	
⑥円滑な事業執行の環境 1) 計画の具体性など、事業の熟度が高い。	○
III. 計画の実現可能性	
⑥円滑な事業執行の環境 2) 交付期間中の計画管理（モニタリング）を実施する予定である。	○
I. 目標の妥当性	
⑥円滑な事業執行の環境 3) 計画について住民等との間で合意が形成されている。	○

計画の名称	富士の麓の高原都市にふさわしい水環境保全	交付対象	御殿場市
計画の期間	平成31年度～令和4年度(4年間)		

A07-002 ストックマネジメント計画策定

A07-003 管渠施設ストックマネジメント事業

A07-005 下水道施設ストックマネジメント事業

A07-001 御殿場浄化センター耐震化事業
A07-004 御殿場浄化センターストックマネジメント事業

